

■大切な命の情報を伝える

救急医療情報キット

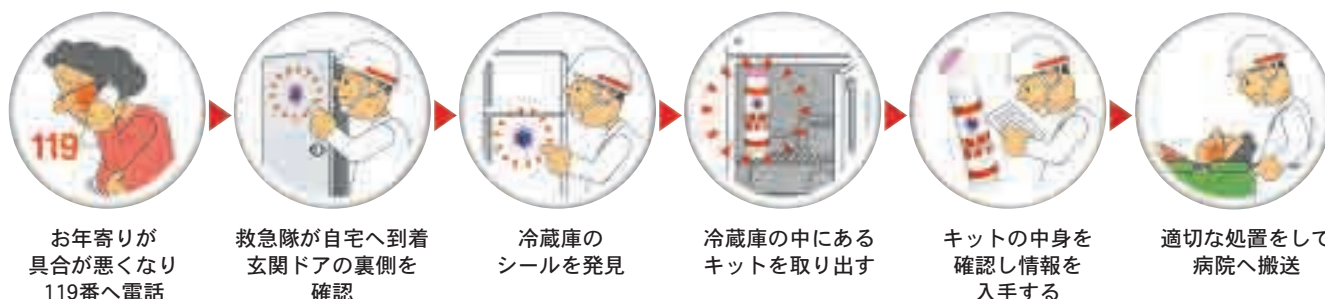
ひとり暮らしの高齢者の方が、自宅などで倒れ救急隊が駆けつけた場合に、既往症や服用薬など本人の医療情報を速やかに確認できる工夫が必要です。

救急医療情報キットとは、あらかじめ個人の持病・投薬などの医療情報、保険証の写しなどを入れておくカプセルのことです。冷蔵庫で保管しておき、「カプセル有」の目印シールを玄関の内側や冷蔵庫の扉に貼っておくことで、救急時に駆け付けた救急隊や医師などが、そのカプセルで個人の情報を迅速に確認することができます。冷蔵庫を利用するのは、目立つ場所にあり、ドア一枚の探しやすい保管場所と認知されているからです。



【セット内容】救急情報シート／救急医療マークシール／ケース／取扱説明書

救急医療情報キット〈活用例〉



INTERVIEW

「第5期シルバープラン」の新規事業について、感想を伺いました。

うだかわ あきら
宇田川 明さん 80歳 大森井在住

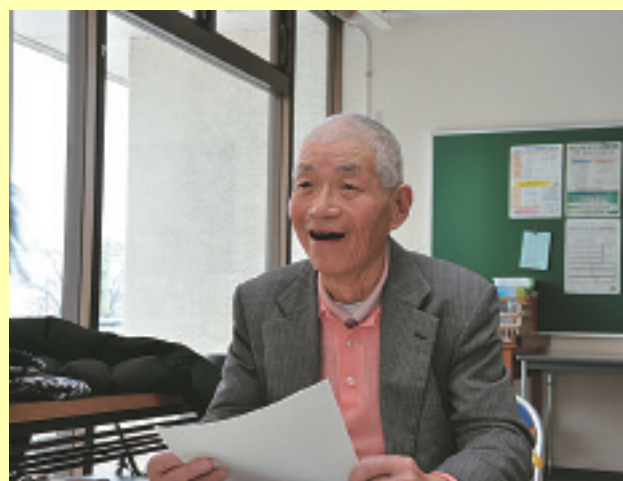
「趣味を通じて知り合った地域の仲間たちと、頻繁に会って楽しく過ごしています」。天気の良い日は必ず外に出て散歩したり自転車に乗ったり、市内にも一人でふらっと出かけていくと話す宇田川さんは今年80歳。ひとり暮らしもうベテランで、市の健康相談や保健センターでの給食サービスなどを積極的に利用しています。

——シルバーサロンについて

「誰でも気軽に世間話ができる場所があったら、新しい友達作りには最適です。ちょっと高級感があってうどんや蕎麦が食べられたりしたら、よりいいですね。出不精な方も近くにあったら気軽に行けるのでは」

——救急医療情報キットについて

「目印のシールを玄関ドアの内側に貼るというのは、うちの玄関ははがれそうな気がしますが、冷蔵庫にキットを置いておくのはいいアイデアです。気を失うなどの事態になったときは非常に安心なシステムですね」



笑顔で施策の感想を話してくれる宇田川さん